

第 9 回総合計画審議会における基本構想（事務局案）に対する意見と対応一覧

（委員の発言、会長の発言、事務局の発言）

連番	区分	意見	意見に対する対応
1	基本理念	本日、初見のため、次回審議を行い、決定することとしたい。また、気付いた点で言えば、「示唆される」は「示される」が適切ではないか。また、「都市の実現に向けて」は「都市の実現を基本理念として」とすることもよいのではないか。	
2	基本理念	○ 基本理念としては、文章が長すぎるのではないか。基本理念は根本的な部分であり、現基本構想も短く端的なものであった。細かな部分はこれ以降の政策や基本計画等で表現されてくるため、それらを網羅した文言とする必要があるのではないか。目指すまちが多く出てくるが、書く必要があるのか。いずれにしても文章が長い印象である。	・意見を踏まえ、全体的に表現を修正しました。
3	実現に向けた基本姿勢	（２）の「相互の利活用」は、「利用」、又は「活用」で十分ではないか。また、「中心的に取り組む」は、「中心的な役割を果たす」が適切ではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
4	実現に向けた基本姿勢	（３）の「横断的・統合的」は、「市民と連携して横断的・統合的」がよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
5	政策 1	対応の方策に、「仕事と生活の調和、ワークライフバランスの実現に取り組みます。」などと表現したほうがよいのではないか。	・「多様な主体との連携により」にそうした視点が含まれていることから、原案のとおりとしました。
6	政策 2	「多様な学習ニーズ」は「多様で高度な学習ニーズ」としてはどうか。近年ではそうしたニーズもある。「多様」に「高度」も含まれるものと認識している。 ○今の意見について、例えば「多様で質の高い」とすればよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
7	政策 2	○「学んだ成果を地域での活動に生かすことが求められています」は、成果を必ず地域での活動に生かさなければならないという印象を受けるので、修正前の表現に留めたほうがよいのではないか。 ○生涯学習は、個々が学ぶことであり、社会教育は、学んだことを地域に生かすことと理解している。 ○地域還元は一つの考え方ではあるが、必ずしも還元先は地域とは限らない。市民が学んでいくことは、地域づくりにも生かされるであろうが、地域以外にも生かされ、結果まちの発展に寄与すると考えることが、捉え方としては望ましい。修正案が良いとは思っていない。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
8	政策 3	「高齢者や障害者の地域生活の支援」の「地域」は不要ではないか。	・「誰もが住み慣れた地域で安全で安心して自分らしい暮らしを続ける」ための取組を表現したものであるため、原案のとおりとしました。
9	政策 4	「生活習慣病対策」とあるが、記載が必要か。「心と身体の健康づくり」に含まれるのではないか。	・意見を踏まえ、表現を削除しました。
10	政策 5	「人権を認め合う社会づくりへの要請」を「人権を認め合う社会づくりや世界平和の実現への要請」としたほうがよいのではないか。「平和意識の向上」が唐突である。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
11	目指すまちの姿	「魅力ある景観を形成することで」は「魅力ある景観の形成により」としたほうがよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
12	政策 6	「東日本大震災をはじめ」は不要ではないか。	・意見を踏まえ、表現を削除しました。
13	政策 6	２段落目に「ため」が続くので、「災害リスクを低減する計画的」でよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
14	政策 8	「魅力的な市街地の景観」とあるが、文化財保護法が改正され、文化的景観に集落景観、農村景観などが該当するとされている。そうした中、「魅力的な市街地の景観や農村景観」としてはどうか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
15	政策 8	○都市計画法が改正され、用途地域内に「田園住居地域」が設定されたことや、都市農業推進基本法においても、市街化区域内の農地の考え方が変わってきている。農業について、政策のどこかで表現していただきたい。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
16	政策 8	○「安心して暮らせる」と景観がつかない印象があるため、検討いただきたい。	・「安心して暮らせる住環境」は、住宅セーフティネットや地区計画などの住宅施策を表現したものであるため、原案のとおりとしました。
17	目指すまちの姿	「人口減少社会においても活力とにぎわいを生み出します」は、「活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます」としたほうがよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
18	政策 9	○「集約連携型」が分かりにくいのではないか。また、その在り方も議論されていることを踏まえ、検討いただきたい。 事務局が熟考した表現ではないかと考える。国土交通省では、「無秩序な拡散型都市構造を集約型都市構造に転換する」という姿勢が示されている。大まかには、将来的に生活利便施設を不便なく徒歩で利用できる都市構造にしていくことが必要となる。現状のままでは、空家が増加し、非効率な都市構造となり、市民の負担が大きくなる。そうした中においては、この表現をこのまま残したほうがよい。	・意見を踏まえ、「集約連携型」を削除しました。 (削除しても方向性は表現されているため)
19	政策 10	「など」が多く使われているため、極力、必要のある部分のみに使用するよう検討いただきたい。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
20	政策 10	「地域経済の活性化を進めます」は、「地域経済の成長と発展を図ります」としたほうがよいのではないか。	
21	政策 10	○先ほどの農業の話も踏まえると、修正前の「工業、農林業、商業、観光」を残したほうがよいのではないか。また、タイトルが「日本の経済を牽引」となっているが、本文の文末が「地域経済の活性化」になっているので、整合が図られるよう検討いただきたい。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
22	政策 11	「市民・市議会・行政が一体となり」は、行政は議会と並列の立場とは違うため、「市民・市が一体となり」ではどうか。 ○市議会は、市民と同じ立場、価値観で活動をしており、「行政と市議会」を「市」と捉えることには違和感があるため、事務局案のままがよいのではないか。	・原案のとおりとしました。

第 9 回総合計画審議会における基本構想（事務局案）に対する意見と対応一覧

（委員の発言、会長の発言、事務局の発言）

連番	区分	意見	意見に対する対応
23	政策 1 1	○ これまでであれば、原案でよいが、現在の局面においてこの表現でよいか懸念がある。米陸軍部隊司令部が相模総合補給廠に駐留されたところであり、これが基地強化と捉えるか考え方が分かれているところだが、いずれにしても、「騒音被害や事故への不安など」では、明らかに現状認識に不足があるのではないか。例えば「機能強化を認めず」と表現するなど検討したほうがよい。 「機能強化」の表現について、検討いただきたい。	総合計画は長期的な視点で基地の全面返還という基本的な政策を示したものであることから、意見を踏まえ表現を修正しました。
24	政策 1 3	「地球温暖化の進行による気候変動の影響が世界的に顕在化しており」とあるが、どのような影響があるかが表現されていない。例えば、「安定した気候は、生態系を維持し、食料を生み出し、暮らしを安全に守ります」など、意味合いを入れてはどうか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
25	政策 1 4	「生物多様性の保全などの取組」とあるが、「多様性の保全など、健全な自然生態系の保全を進める」としたほうがよいのではないか。	・「野生鳥獣の適切な管理」や「生物多様性の保全」が自然生態系の保全と同様の意味合いのため、原案のとおりとしました。
26	政策 1 4	○ 水、山など自然の生態系について触れているが、農業もこうしたことに関連する部分もあるのではないか。都市農業振興基本法の目的において、「良好な景観の形成」と表現されていることなどからも、農業について記載できないか検討いただきたい。	・農業の振興により「良好な景観の形成」が推進されることは想定されますが、そのことを目的に農業振興するものではないことから、政策 8 に表現することとし、原案のとおりとしました。
27	政策 1 5	「自然がもたらす効果や快適性」とあるが、どのような効果をもたらすのかが表現されていない。例えば、「自然がもたらすやすらぎや快適性」としてはどうか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
28	政策 1 6	○ 「連携を強化して地域課題の解決に取り組むとともに」とあるが、修正前にはこうした表現はなかった。団体を組織していくという考えだけでなく、様々な考えのある個人がどうしたら地域活動に参加できるのかという仕組みづくりや、情報の共有などについて表現したほうがよいのではないか。 今後もコミュニティづくりは重要と認識しており、いただいた意見は基本計画や実施計画において表現していくことで検討したい。 ○ ライフスタイルが多様化している中、ゆるやかな繋がりをどのように作るかや、小さな声をどのように応援していくかを表現していくほうが、個人が参加しやすくなるのではないか。大まかな方向である基本構想において表現することがよいのではないか。また、前段については、「まちづくり会議を中心に、横断的にまちづくりを進めています」は、地域によっても違いがあり課題も異なるため、もう少し表現を工夫してもらいたい。参加していない市民が見た時に、参加しやすくなる表現を検討いただきたい。 もう少しやわらかに連携していく、ほどほどの信頼関係を持ちながら生活していくというニュアンスとすることがよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。
29	政策 1 7	○ 少子高齢化が進むから財政難になるという考え方について、市においては過去、多子社会であったことが財政難となっていた経過がある。また、財政状況が厳しくなっている要因が保育ニーズへの支出になってきており、国の制度設計により更に押し付けられる領域の拡大が確実になっていることから、これを理由として表現したほうがよいのではないか。保育ニーズを限定的に表現することはどうかとも思うが、国の政策レベルで都市の負担が増加しているという背景は表現したほうがよいのではないか。また、「市民と行政」は「市民・市議会・行政」としたほうがよいのではないか。	・意見を踏まえ、表現を修正しました。